



〈R03153418〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～10ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、試験開始後、解答用紙の氏名欄に氏名を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) マーク欄には、はっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと（砂消しゴムは使用しないこと）。

マークする時	<input checked="" type="radio"/> 良い	<input type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い
マークを消す時	<input type="radio"/> 良い	<input type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
 - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

(例) 3825番⇒	万	千	百	十	一
	3	8	2	2	5

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
9. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

I 次の文章を読み、問1～9について、各設問の指示に従って選択肢の中から解答を選び、その記号をマーク解答用紙にマークせよ。

紀元前19世紀、アモリ人によってメソポタミアが統一され、バビロン第1王朝が成立した。ハンムラビ王は各地の法慣習を集大成してハンムラビ法典を發布した。この法典では、子どもを産むことは女性の義務であるとし、子どもを産まない妻は持参金などを返して離縁されてもやむを得ないものとされていた。

(B) ローマ共和政では、紀元前5世紀半ばにローマ最古の成文法とされる十二表法が制定された。この法律には家族法に関する規定がおかれ、その基礎とされたのが、家父長が子ども・妻・奴隷に対する強大な支配権をもつ家父長制である。こうしたローマ法は、その後のゲルマン法や教会法とともに、西欧の近代法原理の確立に大きな影響を与えた。

近代市民革命期、啓蒙思想の影響を受けて各国で成立した人権宣言の中では、人間は生まれながらに自由かつ平等であることが謳われた。しかし、1789年に採択されたフランスの人権宣言では、女性の権利が排除されており、(D)は批判を込めて「女性の権利宣言」を發表した。フランスではその後、女性の政治的集会の参加や政治結社を禁止する法律が制定され、民法典であるナポレオン法典でも、妻の法的無能力などを基調とした諸規定が確立した。

(E) アメリカ合衆国(アメリカ)では、南北戦争の結果、1865年の連邦憲法修正により奴隷制が廃止され、さらに1870年の連邦憲法修正により人種を理由とした投票権の制限が禁止された。一方、連邦レベルで女性の参政権が確立するのはその後のことであった。(F)(G)

第二次世界大戦後に創設された国際連合では、世界中の人権問題に対応するため、人権に関する宣言や条約が採択され、関連する国際会議が開催された。(H) そうした国際的な動きの中で女性の権利に関する認識やフェミニズムの視点も定着しつつあり、政治分野でも世界中で女性リーダーが活躍するようになっている。(I)

問1 下線部(A)について、ハンムラビ法典に関する次の記述のうち、適切でないものを1つ選べ。

- a. ハンムラビ法典は、シュメールのウルナム法典などを継承した成文法で、刑法・商法・民法などを含む全282条からなる。
- b. ハンムラビ法典の第1条には、人がもし他人を殺人の罪で告訴し、これを立証できないときは、告訴人は死刑に処せられることが規定されている。
- c. ハンムラビ法典は、同害復讐の原則に基づき、被害者の過剰な復讐を禁止し、身分による刑罰の差別も設けなかった。
- d. フランスの調査隊によりスサで発見されたハンムラビ法典碑には、楔形文字が刻まれていた。

問2 下線部(B)について、ローマ共和政に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. 護民官は、平民会で選ばれる平民保護のための役職で、元老院やコンスルの決議と行為に対する拒否権を保障された。
- b. 独裁官は、全権を委任された終身議員で、元老院によって指名された。
- c. ホルテンシウス法には、コンスルの1名は平民より選出することが定められていた。
- d. リキニウス・セクスティウス法には、平民会での決議が元老院の承認を得ずとも国法となることが定められていた。

問3 下線部(C)について、啓蒙思想家とその著書の組み合わせのうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. ルソー —— 『統治二論』
- b. モンテスキュー —— 『リヴァイアサン』
- c. ヴォルテール —— 『哲学書簡』
- d. デイドロ —— 『純粹理性批判』

問4 空欄(D)に当てはまる人物を1人選べ。

- a. ルージェ=ド=リール
- b. エベール
- c. シャルロット=コルデ
- d. オランプ=ド=グージュ

問5 下線部(E)について、ナポレオンに関連する次の記述のうち、適切でないものを1つ選べ。

- a. ナポレオンは最初の妻・皇后のジョゼフィーヌと離婚し、のちにスペイン皇女と再婚した。
- b. ワーテルローの戦いで連合軍総司令官としてナポレオン軍を敗北させたウェリントン、のちにイギリスの首相となった。
- c. ナポレオンによって設立されたフランス銀行は、のちに国内唯一の発券銀行となった。
- d. ナポレオンのエジプト遠征時に発見されたロゼッタ=ストーンは、神聖文字を解読する手がかりとなった。

問6 下線部(F)について、1950年代から1960年代にかけてのアメリカにおける人種平等に関する出来事を年代順に正しく並べたものを1つ選べ。

- ① 公民権法制定
 - ② キング牧師暗殺
 - ③ ワシントン大行進
 - ④ ブラウン判決
- a. ④—③—①—②
 - b. ③—④—①—②
 - c. ④—③—②—①
 - d. ②—④—③—①

問7 下線部(G)について、下の女性参政権獲得の年表に入る国名①-④を正しく並べたものを1つ選べ。

1893	①
1918	②
1920	③
1944	④
1945	日本

- a. ①フランス ②イギリス ③アメリカ ④ニュージーランド
- b. ①フランス ②アメリカ ③ニュージーランド ④イギリス
- c. ①ニュージーランド ②アメリカ ③フランス ④イギリス
- d. ①ニュージーランド ②イギリス ③アメリカ ④フランス

- 問 8 下線部 (H) について、女性の権利に関わる宣言、条約、会議、法律に関する次の記述のうち、適切でないものを1つ選べ。
- a. 1948年に国際連合総会で採択された世界人権宣言は、すべての人が性などによる差別を受けないことを宣言している。
 - b. 女性差別撤廃条約は、1979年に男女平等の実現を目指して国際連合総会で採択された条約で、1981年に発効した。
 - c. 日本は、1980年に男女雇用機会均等法を制定するとともに、女性差別撤廃条約を批准した。
 - d. 世界女性会議は、国際連合の提唱で1975年に始まり、1995年の第4回大会は北京で開催された。

- 問 9 下線部 (I) について、第二次世界大戦後の世界の女性リーダーに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。
- a. サーリーフは、ナイジェリアの大統領で、アフリカ初の女性大統領となり、2011年にノーベル平和賞を受賞した。
 - b. サッチャーは、保守党出身のイギリス初の女性首相で、福祉国家路線を修正し、新自由主義政策の旗手とされた。
 - c. スー=チーは、インドネシア独立の父、アウン=サン將軍の娘で、軍事政権に対する民主化運動のリーダーとなり、1991年にノーベル平和賞を受賞した。
 - d. プットは、スリランカの首相で、イスラーム圏初の女性首相となったが、1999年からはイギリスやドバイで亡命生活を送った。

II 次の文章を読み、問 1～10について、各設問の指示に従って選択肢の中から解答を選び、その記号をマーク解答用紙にマークせよ。

(A) 古代ギリシアの叙事詩『オデュッセイア』は、現在まで世界各地で冒険の規範であり続けている。紀元前4世紀のマケドニア王アレクサンドロスの大遠征は、まさに冒険精神の体現だった。この遠征からヘレニズム文化が生まれた事実が示すとおり、冒険はしばしば文化交流を促す要因となる。13世紀、チンギス=ハンの大遠征とともに東西文化の交流が活性化すると、ヨーロッパ人がアジアを訪れることも多くなり、ヴェネツィア出身のマルコ=ポーロは、中国に到達して元のフビライに仕えた。

(D) マルコ=ポーロ著『世界の記述』は、後に多くのヨーロッパ人を冒険に駆り立てた。16世紀に始まるアメリカ大陸征服は、未知の世界へ踏み込む大冒険であり、以後新旧両大陸の交流は急速に進んだ。

(F) 19世紀、ロマン主義が勃興すると、詩人や芸術家のみならず、宮廷からも冒険に憧れる者が現れた。その代表が、名門ハプスブルク家の王子マクシミリアンであり、ロマン派詩人を愛読した彼は、地中海各地やブラジルを旅した後、1864年にメキシコ皇帝となった。その妻で、コンゴの搾取者として悪名高いベルギー王レオポルド2世の妹シャルロットも、同じくロマン主義にかぶれてアメリカ大陸に乗り込んだが、メキシコ帝国崩壊とともに発狂した。

(I) また、19世紀には科学的探究も冒険の原動力となっている。19世紀の後半には、長期間の航海とガラパゴス諸島などにおける生態調査を土台とした **(J)** が、科学界で大きな話題を呼んだ。

- 問 1 下線部 (A) について、古代ギリシアの叙事詩に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。
- a. ホメロス作とされる『イリアス』において、ギリシアの英雄アキレウスはトロイア戦争で武勲をあげる。
 - b. 『オデュッセイア』において、主人公オデュッセウスは妻の導きでトロイア戦争に参加して戦死する。
 - c. 『神統記』において作者ヘシオドスは、ヘクトールを筆頭とするオリンポス12神の系譜をたどっている。
 - d. 『労働と日々』において作者ピンドロスは、農作業の描写を通じて勤労の尊さを称えている。

問2 下線部 (B) について、次の人物と、関連する地名、関連する事項の組み合わせのうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. エピクロス — キプロス — 快樂主義
- b. ゼノン — キプロス — スコラ哲学
- c. エウクレイデス — アレクサンドリア — アキレスと亀のパラドックス
- d. アルキメデス — アレクサンドリア — 円周率の計算

問3 下線部 (C) について、ヴェネツィアに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. 9世紀、カペー朝のイタリア支配が緩むとともに独立都市国家となり、地中海交易によって栄えた。
- b. 13世紀初頭、商業圏の拡大をもくろんで十字軍を主導し、コンスタンティノープルに侵攻した。
- c. 16世紀、スペインとともにオスマン帝国に対抗し、プレヴェザの海戦に勝利した。
- d. 19世紀後半、オーストリアがフランスとの戦争に敗れた結果、イタリア王国に割譲された。

問4 下線部 (D) について、フビライに関する次の記述のうち、適切でないものを1つ選べ。

- a. 大理に遠征軍を送ったが、撃退された。
- b. チンギス=ハンの孫にあたり、第4代皇帝モンケの弟だった。
- c. 郭守敬に命じて精密な観測に基づく暦を作成させた。
- d. 隋の時代に開設された運河の補修工事に着手した。

問5 下線部 (E) について、以下の事件を年代順に正しく並べたものを1つ選べ。

- ① バルボアのパナマ地峡横断
 - ② アメリゴ=ヴェスプッチの第1回大西洋横断
 - ③ コルテスのアステカ王国侵入
 - ④ カブラルのブラジル漂着
- a. ②—④—③—①
 - b. ②—④—①—③
 - c. ④—②—①—③
 - d. ④—②—③—①

問6 下線部 (F) について、関連する次の記述のうち、適切でないものを1つ選べ。

- a. ヨーロッパ人が新大陸に持ち込んだ天然痘や梅毒により、先住民インディオは深刻な健康被害を受けた。
- b. ジャガイモ、トマト、トウモロコシ、カカオなどが新大陸から伝わり、ヨーロッパ人の食生活を大きく変えた。
- c. 新大陸に大農園制度が広がり、労働力不足を補うため、ブラジルやカリブ地域にアフリカから黒人奴隷が運ばれた。
- d. ボリビアのポトシ銀山を筆頭に新大陸で銀の採掘が進み、ヨーロッパ全土に価格革命を引き起こした。

問7 下線部 (G) について、ハプスブルク家の輩出した次の皇帝と、その血縁関係、関連する事項の組み合わせのうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. カール5世 — イサベル女王の孫 — トルデシリャス条約締結
- b. フェリペ2世 — フェリペ3世の父親 — メキシコ征服
- c. フランツ1世 — マリア=テレジアの夫 — 七年戦争
- d. ヨーゼフ2世 — ヨーゼフ1世の息子 — 第1回ポーランド分割

問8 下線部 (H) について、コンゴに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. レオポルド2世の支援を受けたリヴィングストンが1874年にコンゴで原住民に接触し、植民地化への道筋を開いた。
- b. ビスマルクの提唱により1884年から開催されたベルリン会議で、コンゴ川流域の統治権がベルギーに認められた。
- c. 1885年にコンゴ自由国が成立し、1908年にベルギーの植民地となるまで、事実上の自治権を認められた。
- d. 1965年にベルギーから完全独立を果たし、独立運動を指導していたルンバが初代首相となった。

問9 下線部 (I) について、メキシコ帝国に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. ナポレオン3世がイギリス、オランダとともにメキシコに出兵し、帝国樹立を後押しした。
- b. 裕福なクリオーリョだったファレスは、メキシコの民衆を率いてマクシミリアンに抵抗した。
- c. 共和派に敗れた皇帝マクシミリアンは、故郷のオーストリアに追放処分となった。
- d. メキシコ帝国の打倒に貢献したディアス將軍は、後に長期独裁政権をしいた。

問10 空欄 (J) に入る言葉として最も適切なものを1つ選べ。

- a. 進化論
- b. 遺伝の法則
- c. 細菌学
- d. X線の発見

III 次の文章を読み、問1～9について、各設問の指示に従って選択肢の中から解答を選び、その記号をマーク解答用紙にマークせよ。

2020年7月、トルコ政府は宗教的に中立な博物館であったハギア (セント) = ソフィア聖堂 ^(A)をイスラーム礼拝所にすることを決定した。この聖堂が建てられたイスタンブル ^(B)は、ボスフォラス海峡に面し、東西を結ぶ交通の要衝として古くから栄えてきた。ハギア=ソフィア聖堂は、時代によって様々な宗教的な世界をとどめてきたことから、世界遺産にも登録されている。

ローマ皇帝によって迫害を受けてきたキリスト教は、313年のコンスタンティヌス帝によって出されたミラノ勅令によって公認されると、ローマ帝国全土に広まっていった。395年にローマ帝国は東西に分裂し、さらに西ローマ帝国が476年に滅亡した後、ローマ帝国の唯一の後継者となったビザンツ (東ローマ) 帝国皇帝は、地上におけるキリストの代理人として政治と宗教両面における最高権力者となった。そうしたなか、6世紀にユスティニアヌス帝 ^(D)によって、この聖堂は建立された。ここにキリスト教の総大司教座が置かれてコンスタンティノープル教会として栄えたのに対して、

(E) ローマ教会はビザンツ皇帝から分離して独自の活動を展開していった。こうして11世紀半ばには、キリスト教世界は、ギリシア正教会とローマ=カトリック教会で完全に分裂した。

(F) ユスティニアヌス帝の死後、異民族の進出によってしだいにビザンツ帝国の支配権は縮小していった。ついに1453年にコンスタンティノープルがオスマン帝国によって攻撃され、 ^(G) ビザンツ帝国は滅ぼされた。そしてオスマン帝国のスルタンの支配のもとにイスラーム法に基づく政治がおこなわれると、ハギア=ソフィアはモスクとして使用されるようになった。

20世紀まで続いたオスマン帝国は、第一次世界大戦に参戦して敗北すると、1920年に連合国との間でセーヴル条約 ^(H)を締結した。これに対して、トルコ人の主権と国土を守るため抵抗運動を組織した帝国軍人のムスタファ=ケマルは、トルコ大国民議会を招集し、1923年にトルコ共和国政府を樹立し、 ^(I) 自ら初代大統領となった。トルコ共和国憲法には、フランスの影響をうけて政教分離の考えが取り入れられ、ハギア=ソフィアもそうした経緯で宗教的に中立を保ってきたが、100年後にそれに変更が加えられた。

- 問1 下線部 (A) について、ハギア=ソフィア聖堂に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。
- この聖堂はギリシア式十字、ドームとよばれる円屋根、尖塔などのビザンツ様式の特徴がみられる。
 - この聖堂には、ユスティニアヌス帝と皇后テオドラの壮麗なモザイク画が飾られている。
 - この聖堂において、ビザンツ皇帝戴冠式など重要な国家儀礼がとりおこなわれた。
 - この教会建築とよく似たモスクを建てさせたスレイマン1世は、レパントの海戦でスペインなどの連合艦隊に敗れた。
- 問2 下線部 (B) について、イスタンブルに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。
- ギリシア人植民市として栄えたビザンティウムが旧名である。
 - 15世紀半ば、オスマン帝国のセリム1世がこの地を攻略し、「征服王」と呼ばれた。
 - 16世紀半ばにコーヒー飲用の習慣がウィーンからもたらされ、この地にコーヒーハウスが開かれた。
 - 20世紀に誕生したトルコ共和国の首都である。
- 問3 下線部 (C) について、キリスト教の思想に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。
- テオドシウス帝は、多神教を復活させようとしてキリスト教を禁止したため、「背教者」と呼ばれた。
 - イエスに神性のみを認める単性論派は、エジプトに広まりコプト教会を作った。
 - 異端とされたネストリウス派は、ペルシア人阿羅本によって隋に伝わり、景教とよばれた。
 - 431年のエフェソス会議で、アリウス派は異端とされた。
- 問4 下線部 (D) について、ユスティニアヌス帝時代 (527～565年) にあたる出来事に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。
- イタリアへ移動してきた東ゴート人のテオドリック大王が東ゴート王国を建てた。
 - パミール高原を支配していたエフタルが、南インドのグプタ朝を滅ぼした。
 - 東ローマ帝国が、ヴァンダル王国を滅ぼし、アフリカ北部を奪回した。
 - 中国では、楊堅が隋王朝を建てた。
- 問5 下線部 (E) について、ローマ教会がおこなった活動に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。
- 使徒ペトロの後継者を称したローマ司教は、教皇として首位権をもつと主張した。
 - 世俗から離れて修業する修道会運動が西欧で広がり、モンテ=カシノに開かれたシトー修道会は大きな影響力をもった。
 - 教皇レオ3世は、トゥール・ボワティエ間の戦いでイスラーム勢力を撃退したメロヴィング家宮宰のカールにローマ皇帝の帝冠を授けた。
 - ピピンがランゴバルド王国から奪って教皇に献上したローマを、教皇領とした。
- 問6 下線部 (F) について、ギリシア正教会とスラヴ人に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。
- ポーランド人は10世紀にギリシア正教に改宗し、14世紀ヤゲウォ朝の下で最盛期を迎えた。
 - 10世紀末、キエフ公国のウラディミル1世はビザンツ皇女を妃に迎えて、ギリシア正教を国教にした。
 - ギリシア正教に改宗したスロヴェニア人は、12世紀にビザンツ帝国から独立した後、14世紀のステファン=ドゥシャンのもとで最盛期を迎えた。
 - モスクワ大公国のイヴァン4世は、ビザンツ最後の皇帝の姪と結婚して、ローマ帝国の後継者として皇帝を名乗った。

問7 下線部 (G) について、異民族の進出によって脅かされるビザンツ帝国の状況を説明した次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. トゥグルル=ベクが建国したセルジューク朝によって、ビザンツ領のアナトリアなどが占領された。
- b. ビザンツ皇帝は教皇イノケンティウス3世に救援を要請して、1095年に第1回十字軍が派遣された。
- c. ビザンツ領だったイェルサレムは、アイユーブ朝のサラディンによって占領されたが、第3回十字軍が奪回した。
- d. バルカン半島に進出したスラヴ系のブルガール人が、ビザンツ帝国から独立し、ブルガリア帝国を建てた。

問8 下線部 (H) について、セーヴル条約に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. この条約締結によってオスマン帝国が失ったパレスチナ・シリアは、イギリスの委任統治領とされた。
- b. この条約により連合国は、治外法権の存続や、関税自主権の制限などをオスマン帝国に認めさせた。
- c. この条約の前に、連合国はオスマン帝国領土を分割するフサイン・マクマホン協定を結んでいた。
- d. 民族自決権を認めたこの条約では、オスマン帝国領内のクルド人が自治領を認められて独立した。

問9 下線部 (I) について、トルコ共和国成立後におこなわれた改革として、適切でないものを1つ選べ。

- a. 一夫多妻制の廃止
- b. 女性参政権の実施
- c. スルタン制の廃止
- d. ヒジュラ暦の廃止

IV 次の文章を読み、問1および問3～10について、各設問の指示に従って選択肢の中から解答を選び、その記号をマーク解答用紙にマークせよ。問2の解答については、記述解答用紙の所定欄に記入せよ。

近代という時代のひとつの特徴として、自由な市場経済における資本家や大企業の利潤獲得競争を社会発展の軸とする、資本主義の時代であることが挙げられる。資本主義の先駆けであるイギリスでは、18世紀終盤以降、古典派経済学^(A)による市場経済の理論化がおこなわれるようになり、1846年には穀物法が廃止されるなど、経済の自由放任を是とする思想が影響力をもつにいたった。その一方で、規制なき資本主義経済が格差と貧困といった社会問題や国家間の不平等をもたらすこともまた、近代化の過程で認識されるに至った。フランス革命では、市場経済の自由化と政府の規制の関係をめぐる多様な経済思想があらわれた。また19世紀に入ると、資本主義を批判する社会主義思想や、自由貿易体制を批判する保護主義の思想と政策がみられるようになった。ヨーロッパ諸国のアジア進出の過程でもみられたように、自由な市場経済とは、しばしば他国の政治的・経済的な従属を伴うものでもあった。^(B)^(C)^(D)^(E)^(F)

第一次世界大戦期にロシア革命が起きたのちは、資本主義のオルタナティブとしての社会主義経済の可能性が各国で検討されるようになる。1920年代は、資本主義国のアメリカ合衆国（アメリカ）と社会主義国のソヴィエト社会主義共和国連邦（ソ連）が異なる方法で経済発展を追求した時期であったが、資本主義経済に大きな打撃を与えた世界恐慌の影響をソ連がほとんど受けなかったことで、1930年代には資本主義諸国の多くの知識人が社会主義を支持するようになっていった。^(G)^(H)

第二次世界大戦後、東西冷戦構造が形成される中で、西ヨーロッパや日本は長期的な経済発展を実現する。しかし、アメリカ経済の相対的な弱体化やオイル=ショックに伴い、1970年代以後の世界経済は、さらなる転換と再編の時代を迎えることとなった。^(I)^(J)

- 問1 下線部 (A) について、古典派経済学に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。
- a. スミスは、分業と自由貿易を重視する市場経済の理論化をおこない、重商主義を擁護した。
 - b. マルサスは、貧困の原因を人口減少による国力の停滞に求め、政府による人口拡充政策を訴えた。
 - c. リカードは、生産物の価値を決めるのは生産に投下された労働量であるとする労働価値説を唱えた。
 - d. ジョン＝ステュアート＝ミルは古典派経済学の代表的な教科書を執筆する一方で、女性への参政権付与には反対した。
- 問2 下線部 (B) について、1846年に廃止された穀物法とはいかなる法だったか、30字以内で説明せよ。なお、句読点も1字として数えよ。
- 問3 下線部 (C) について、フランス革命時の思想や改革に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。
- a. ネッケルは、貴族の利害を優先し平民への課税を軸とする財政改革案を唱えたため、平民からの反発を招いた。
 - b. 国民公会で主導権を握ったファイヤン派は、農民からの支持を背景に封建地代の無償廃止を主張した。
 - c. ロベスピエールは、価格統制など平等主義的な経済改革をおこなったが、自由販売を望む商工業者層の反発を招いた。
 - d. バブーフは、農民が土地を所有できるように農地の平等な分配を唱え、私有財産制の徹底を目指した。
- 問4 下線部 (D) について、19世紀の社会主義思想に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。
- a. オーウェンは、労働条件の改善や協同組合運動の発展に尽力し、アメリカでは共産社会ニューラナークの設立を試みた。
 - b. サン＝シモンは、社会発展の基礎を産業におき、資本家・労働者・農民の協同に基づく新キリスト教を唱えた。
 - c. 「所有とは盗みである」の言葉で知られるブルードンは、私有財産制を否定し政府による土地や財産の管理を主張した。
 - d. 心理学の知見を用いて社会主義社会への移行を説明したマルクスは、自然科学を重視する科学的社会主義を唱えた。
- 問5 下線部 (E) について、保護主義の思想と政策に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。
- a. ドイツの経済学者リストは、資本主義を批判し、保護関税政策を中心とした社会主義経済の実現を唱えた。
 - b. ドイツではビスマルク政権期に、工業製品には関税をかける一方で農産物は自由貿易を原則とする、選択的な保護主義政策がとられた。
 - c. 南北戦争前のアメリカでは、自由貿易と奴隷制維持を重視する南部と、保護貿易と奴隷制反対を主張する北部の対立が深まった。
 - d. 19世紀終盤のイギリスでは、ジョゼフ＝チェンバレンが自由貿易に基づく帝国経済の発展を主張する自由貿易帝国主義を提唱し、保護貿易派と対立した。
- 問6 下線部 (F) について、ヨーロッパ諸国のアジア進出に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。
- a. 19世紀前半の北インドでは、耕作民に土地所有権を認めた上で納税させるザミンダリー制が、イギリス東インド会社によって実施された。
 - b. 19世紀前半のジャワ島では、オランダ東インド会社が、市場価格よりも安く商品作物を買い取る強制栽培制度を実施した。
 - c. 19世紀後半のタイは、イギリスなどの列強に対して、関税自主権の放棄や領事裁判権を認める不平等条約を締結した。
 - d. 19世紀後半の日本は、アメリカなどの列強に対して、領事裁判権や片務的最恵国待遇を認める不平等条約を締結した一方で、関税の自主権は維持した。

問7 下線部 (G) について、1920年代のアメリカとソ連の経済政策に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. アメリカでは、1922年に共和党政権が関税引き下げなどの自由貿易主義的な改革をおこなった。
- b. アメリカの製造業では、多様化が進む消費者の需要にあわせ、フォーダイズムとよばれる多品種少量生産方式がとられた。
- c. ソ連樹立前年の1921年には、スターリンが故レーニンの後継者として、部分的に市場経済を容認する新経済政策（ネップ）に着手した。
- d. 一国社会主義論をとったスターリンは、1928年にネップにかえて第1次五カ年計画を開始し、農業の集団化や生産物の強制供出をおこなった。

問8 下線部 (H) について、世界恐慌に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. アメリカのフーヴァー政権は、スムート＝ホーリー関税法や社会保障法、積極的財政政策など一連の「大きな政府」路線で世界恐慌に対処した。
- b. アメリカのローズヴェルト政権は、世界恐慌への対処として、農業への補助金支給や公共事業拡充、労働者保護法・社会保障法の制定をおこなった。
- c. イギリスのマクドナルド労働党単独政権は、失業保険拡充を軸とする社会保障の充実化によって世界恐慌に対処しようとしたが、緊縮財政派からの反対にあい、頓挫した。
- d. 米英主導で1933年に開催されたロンドン世界経済会議では、米英仏が協調する中で金本位制の維持が約束されたが、その後のブロック経済化の流れを抑えることはできなかった。

問9 下線部 (I) について、戦後の西ヨーロッパと日本の経済発展に寄与した出来事を年代順に正しく並べたものを選べ。

- ① 朝鮮戦争
 - ② 日本における自由民主党の成立
 - ③ マーシャル＝プラン発表
 - ④ ヨーロッパ経済共同体（EEC）発足
- a. ①—③—②—④
 - b. ①—③—④—②
 - c. ③—①—②—④
 - d. ③—①—④—②

問10 下線部 (J) について、1970年代以後の世界経済に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. 1970年代初頭のドル暴落をきっかけに、ブレトン＝ウッズ体制下の変動相場制から、ドルの安定化を重視する金ドル本位制への転換がおこなわれた。
- b. 1986年に開始したウルグアイ＝ラウンドでは、農産物をはじめとする幅広い財やサービスの自由化が議論されたが、知的所有権については交渉の対象外とされた。
- c. アジア・太平洋地域では、「開かれた地域主義」を掲げるアジア太平洋経済協力会議（APEC）が結成され、1991年には中国、台湾、香港もこれに加わった。
- d. ヨーロッパ共通通貨の導入を定めたマーストリヒト条約に基づき、1993年にはヨーロッパ連合（EU）の決済通貨としてユーロが導入された。

〔以下余白〕

